

ごみ処理の有料化に関する説明会

1 日 時：令和3年9月16日(木) 午後6時00分～8時00分

2 場 所：幸浦コミュニティセンター

3 出席者：人

4 次 第

(1) あいさつ

(2) ごみ減量啓発動画の視聴

(3) ごみの有料化(案)の説明

(4) 質疑応答

Q：有料化してごみ袋が高くなるとポイ捨てが増えると思うが市は想定しているか。現状でも掛川市の袋が捨てられているが、誰に言えば処理してくれるのか。

A：有料化で入ってくる収入を使って、現在2人で1班体制のパトロールを2班体制に強化することを考えている。ポイ捨てがあった場合は市の環境政策課で対応していますので、ご連絡をいただければと思います。

Q：ごみ袋の値段が今の9円が39円になると他の市町と比べて圧倒的に群を抜いて高くなるが、他の市との関係をどう考えているのか。また、無料の市町は袋井市と同じような問題があると思うが、有料化の検討をしているのか。

A：現在お示ししている39円の案は、県内ではダントツに高いです。動画にもありましたが、30円の手数料が一番効果が高いということで設定させてもらっています。説明会を開催するにあたり値段の根拠が決まっていなかったのではご説明できませんので、あくまでも案ということでお示しさせていただいています。また、県内で半分くらいが無料ですが、浜松市は袋井市と並行して有料化の検討をしています。国からは、地球温暖化対策として有料化を検討するように、というような通知も来ていますので、今後温暖化対策として有料化を検討する市町が増えるのではないかと考えています。

袋井市では、有料化で入る収入を使って雑紙の回収や生ごみのリサイクルなどをやらせてもらって、温室効果ガスを削減していくことを考えています。

Q：平成28年にプラが燃えるごみで出せるようになって、ごみが増えて、今回値上げせざるを得ない状況になっている。クリーンセンターがきつい状態になっていることも今まで全く聞いていなかったが、もっと早い対応ができたのではないか。

A：市も何もしてこなかったわけではなく、2年間くらいに渡って水切り大作戦の普及などでチラシやグッズを配ったりしましたが、あまり効果が上がらなかったという経緯があります。今まではお金をかけずになんとかごみを減らしたいということで皆さんにお願いしてきましたが限界を感じています。今回は、大変申し訳ありませんが、皆さんにご負担をお願いして、そのお金で減量対策をしていきたいと考えています。

Q：生活保護を受けている家庭への対策はあるのか。

A：まだ細かいところは決まっていますが検討しています。紙おむつについても、小さいお子さんがいる家庭ではたくさん出ますので、同じように検討しています。

Q：温暖化のためなのか、クリーンセンターの炉が一杯だからか、財政負担なのか、ごちゃ混ぜで何が一番の問題なのかが分からない。温暖化対策は10年以上前から世界中で言っていて、それを突然理由に出すのもおかしい。

A：温暖化対策が一番重要だと思っていますが、クリーンセンターの処理量も高額な処理費も困る問題です。ただ、クリーンセンターの増設や12億円の処理費用は、温暖化の26%削減、46%削減と比べると少なく済むので、一番大変な温暖化防止を目指してごみを減らしていきたいと思っています。結果として、クリーンセンターの増設も不要だし処理費の削減にも繋がると考えていますので、温暖化防止を一番に言わせてもらっています。

Q：クリーンセンターの状況は前から分かっていたことなのに、なぜこんな降って湧いた話になるのか。

A：温室効果ガス26%の削減が目標でしたが、それが、国で46%削減という話を出してきました。これをやるには相当必死になってやらなきゃいけないと思っています。

Q：手数料収入をごみ減量化の事業に使うということだが、決まっていることなのか。お金が何に使われたか分からないことも心配。

A：手数料収入は1.4億円程度を見込んでいて、いろいろな事業をやらせてもらいたいと考えていますが、使い道については、皆さんに分かるような形でお示しさせていただきます。

Q：新しく始める事業をいろいろ自治会に任せるような話が出ているが、自治会が回らなくなってきたのに仕事を押し付けられても困る。

A：大変申し訳ありません。今考えているのは2つありまして、1つは雑紙の回収で、月2回の集団回収の時に、一角に雑紙コーナーを設けていただいて新聞・雑誌・ダンボール以外の紙類を回収してリサイクルしたいと考えています。これについては、自治会の皆さんの負担が増えることなので、集団回収の奨励金の増額も検討したいと考えています。それと、草木を回収するためのコンテナを、できれば自治会ごとに年2回程度置きたいと思っていましたが、置く場所がないという自治会や、年中置いて欲しいという声もありますので、まだどこにも相談している話ではありませんが、できれば14箇所のコミュニティセンターに常時置かせてもらえるような形でお願いできないかなとも思っています。

Q：都市計画税を払っているがこの辺には何も無い。下水道もこない。もう少し考えてほしい。

A：大変申し訳ありませんが、ここで答えができることではありませんのでご理解いただきたいと思います。

Q：老朽化した施設の補修ならやむを得ないと思うが、温室効果ガスの削減のために値上げするというのは納得ができない。温室効果ガスのハードルが上がればまた値上げになる。温室効果ガスの削減は、ごみを減らすことで二次的に表れる効果だと思う。市はごみを減らすためのPRを前面に押し出してやってもらいたいと思う。

A：袋井市よりも温室効果ガスの排出が少ないところがありますが、ごみを減らすことだ

けで温室効果ガスを46%削減できているところはありません。少しでも温室効果ガスを削減するために努力していきますが、目標を達成できなかつたらまた増額という考えではなく、今回値上げさせていただいた収入で、ごみを減らして温室効果ガスを削減するための施策をやっていきたくと考えています。

Q：ごみを減らすために市がどんな努力をしているか市民に伝わっていない。根本の問題は出すごみの量を減らすことだが、スーパーとかでは何でもプラスチックのトレーや包みが付いてきて、それが全部ごみとして出される。昔のようにばら売りとか量り売りになるよう進めてほしい。

A：どこまでできるか約束はできませんが、今後、市内の大手のスーパー等に伺って要望したいと思います。

Q：生ごみは、市が堆肥場を作ってみんなが持ち込んでリサイクルすればいいと思う。できた堆肥を市民に売ればどうか。

A：市内に民間の生ごみリサイクル工場があれば一番いいと思いますが、立地条件や周辺環境の問題で地元の理解が難しいと聞いており、それに代わるものとして、大型の生ごみ処理機でリサイクルをしていきたくと思っています。昨日、浅羽の給食センターにデモ機を借りて設置したのでこれから検証して、生ごみを回収できるシステムができれば広めていきたくと思っています。

Q：年金で暮らしている。値上げは厳しい。

A：負担が増えることについては大変申し訳ありません。資料で1ヶ月あたり約500円増えると説明していますが、あくまでも平均的です。私の家の話で恐縮ですが、生ごみはコンポストを使っていて紙類や容プラも分別していますが、1週間で1袋しか使いません。そうすると、1月当たり130円、年間で1,560円の負担ということで、ごみを減らしていただければ負担も減りますので、まだ案の段階ですがこの金額でご説明させていただいています。よろしくお願ひします。

Q：県内のごみ有料化の状況の資料で6位から10位まで無料。上位の半分くらいが有料化しているなら納得できるが、無料のところでもごみが少ないところがある。隣の磐田市は無料で袋井市よりごみが少ないが、磐田市がどういう対策をとっているか聞いているか。

A：磐田市とは環境政策等についての情報交換をしていますが、袋井市のごみが増えたのはH28年にプラごみの扱いについて誤って伝わってしまったことが一番の原因だと思っています。

※磐田市はごみ袋に氏名を書く「記名式」としたことで、分別が進み、家庭ごみの排出量が減少したということです。(当日は回答していません)

Q：その対策はしたのか。

A：広報はさせてもらっていますが効果が上がっていません。来年からは、分別をわかりやすく説明した動画を作ったり、チラシを全戸配布してPRしていきたくと思っています。ホームページにはできる限り早く載せていきたくと思っています。

Q：30円の値上げは案ということだが、最低ラインはあるのか。効果のない値上げは無意味だと思う。

A：なるべく高い効果ができるように検討したいと思っています。

Q：雑紙の範囲とか動画で初めて知ったことがある。説明会に来ていない人も知れるように市の公式ラインとかで広めてはどうか。

A：市のホームページには載せていますが、できるだけ多くの皆さんにお伝えできるようにしていきます。

Q：資料1のQ5には、R4年4月から有料化すると書いてあるが、これは決定していることなのか。

A：資料の読み方ではそのように見えるため、大変申し訳ありません。有料化することも1リットル1円の手数料も決定しているものではなくて、2月に市議会に案を出して、可決されれば有料化することになります。

Q：市の考えは理解できなくもないが、いきなり4倍強という値段の上げ方は、市民感覚・住民感情からしてあり得ない。段階的ならやむを得ないと思うが、もっと市民感覚に寄り添ってもらいたい。

A：今回は、一番効果が高いであろうという金額を提案させていただいています。この額で決まりということではなく、他の会場でも高いというご意見をいただいておりますが、残り4会場の説明会を行った後に、金額について検討させていただきます。

Q：他の分野でも困ったら値上げするんじゃないかと思ってしまう。いろんなところでお金がないのは市民も解っている。安易に値上げをするようだと市のやろうとすることに協力する気持ちが無くなる。市民から信用されなくなるのではないか。

A：熱海で土石流災害が起こったとき、森町の三倉で過去最高の雨が降っていました。幸い災害は起こりませんでした。近い将来のことを考えると、いま地球温暖化のことを考えないといけないと思っています。今回は1月約500円のご負担をお願いするものですが、これが子供たちの代になれば、違う形でもっと大きな負担が必要になると思います。だからいいじゃないかということではありませんが、安易に値上げするというのではなく、将来を考えてのご提案でございますので、ご理解をいただきたいと思っています。

Q：市が必要だというのなら、30円にとらわれず、いくらでもいいと思う。賛成する。草木のコンテナを置くという話があったが、自治会ごとに置いて欲しい。

A：自治会によっては置く場所がないというところもあるようですが、場所があるという事なら検討させていただきます。

Q：ごみ処理費12億円は特別多いのか、他でもこのくらいかかるものなのか、規模感が分からない。

A：処理費は自治体によって、袋井市より多いところも少ないところもありまして、袋井市が特別多いということではございませんが、ごみを減らして少しでも処理費を減らしたいと思っています。

Q：クリーンセンターの稼働率が96%で危ないということだが、値上げすれば新たな増設は不要になるということで良いか。増設した場合はいくらかかるのか。

A：ごみが減れば増設は必要なくなります。クリーンセンターは、新設した時に2炉で約60億かかっています。もし増設するとなると、1炉でいいとしても50億近くかかると思います。

Q：市民が反対しても議会が承認すれば有料化するのか。

A：反対の方もおりますが、賛同していただいている方もおります。議会で承認されれば有料化はさせていただくという考えです。

Q：自治会全員集めるので湊の公会堂で説明会をやってほしい。質問が出て、また説明会をやっての繰り返しになる。2回目、3回目はやるのか。ごみの出し方を市民に周知するにはあまりにも時間が短すぎる。有料化を1年遅らせて、市民に解らせる努力をするべき。

A：参考意見として記録させていただきます。

Q：ここに来ている人は市の施策がおかしいと思ってきている。行政の施策は、上が改善策を検討して提示し、市民に負担をお願いしますと言うのが正論だ。議員や議会は何をやっているのか。市の職員も質問に中途半端な答えしかできないのに何を高望みしているのか。地球温暖化対策は市がやるのか。他にもっとやることはあるはずだ。

A：しっかりと受け止めて、今後考えさせていただきます。

Q：H28年度にプラの出し方を変更して、それからごみが増えたということだが、なぜ、元に戻すとか、他の出し方にするのをしなかったのか。

A：一番大きな原因はそこにあります。当初、最終的に燃やしているプラは燃やせるごみに出してもいいというように広報をしましたが、プラは全部燃やせるというように間違っただけで伝わってしまい、それを正すための啓発を今もしていますが、元に戻るには至っていません。

Q：H28年度にプラの出し方を変更したことが増えた原因というが、当時、落ち葉などはみんな家で燃やしていた。それが燃やすのはダメとなって、全部緑の袋に入れなきゃいけなくなった。生ごみは1袋だが、草木だけで4、5袋もある。天然の草木は野焼きをして、昔のように落ち葉で焼き芋をやるくらいのはいいのではないか。

A：確かに情緒のようなものがなくなりました。ただ、野焼きをすると洗濯物に臭いが付くとかの苦情もありますので、大変申し訳ありませんが野焼きをしていいですよということとは言えません。今後、草木を回収するコンテナを置かせていただくことを考えていますので利用していただきたいと思います。

Q：広報の仕方が悪い。チラシやグッズを配って周知しましたっていうのは全然ダメだと思う。文書を配ったから解ってくれたらというのでは広報にならない。本当にみんなに知ってほしければ、寄り合いとかに出向いて説明しないと効果が出ない。大事なことは面と向かって話し合わないで伝わらない。

A：今後、出向いてご説明するように考えていきます。

Q：生活していれば必ずごみは出る。豊かな生活をすればごみは増える。そこからお金を取ると、生活すればするほど罰金が増えていく感じがする。納得できない。

A：有料化は、ごみを多く出す人に多く負担していただくものです。新たな負担をお願いするものではありませんが、罰金ではなく、自分が出したごみに対してご負担いただくということでご理解いただきたいと思います。

Q：説明会はまたやるのか。

A：今のところはコミュニティセンター単位でやることにしています。要望があれば調整

したいと思いますので声をかけていただければと思います。